

令和6年度 第1回 岡山県事業評価監視委員会 議事要旨

○開催概要

- 1 日 時 令和6年9月2日(月) 13:30～16:00
- 2 場 所 ピュアリティまきび「千鳥」
- 3 出席者 岡山県事業評価監視委員会 委員 7名
土木部 技術総括監
農林水産部 参与(農林技術)
事務局(技術管理課、農政企画課)
道路建設課、道路整備課、河川課、防災砂防課、港湾課、
都市計画課、耕地課、水産課、農村振興課

○議事概要

- 1 開 会
- 2 挨 拶(土木部 技術総括監)
- 3 事前評価

(事務局)	令和6年度事前評価対象事業の概要説明 (土木部関係4件) 道路事業 ①県道 県道水別総社線 総社市岡谷地内 工 種：道路改良(現道拡幅) 概 要：L=240m W=5.5(9.75)m 事業費：約2.0億円 事業期間：5年間 事業目的：幅員狭小区間において2車線改良及び歩道整備を行うことで、車輛の円滑な通行を図るとともに、通学児童をはじめとする歩行者の安全を確保する。 評価結果：7A/4C ②国道 179号 美作市中尾～勝田郡勝央町黒土地内 工 種：交通安全(歩道設置) 概 要：L=600m W=6.0(11.0)m 事業費：約2.2億円 事業期間：5年間
-------	---

(事務局)	事業目的：令和３年度に千葉県八街市における事故を受けて実施した通学路の合同点検において対策必要箇所に抽出されており、自転車歩行者道の整備を行うことで、安全で、安心な通行空間を確保する。 評価結果：6A/5C 河川事業 ③一級河川 旭川 岡山市北区中牧～建部町福渡地内 工 種：河川改修 概 要：築堤、護岸、河道掘削等 L=23,400m 事業費：約44億円 事業期間：30年間 事業目的：平成30年7月洪水と同等の出水に対する人家等浸水被害の軽減を図る。 評価結果：7A/5C 砂防事業 ④中山谷川 真庭市久世地内 工 種：砂防 概 要：砂防堰堤1基 事業費：約3.0億円 事業期間：7年間 事業目的：保全対象である黒尾住宅団地、公民館及びJR姫新線などへの土石流災害の防止及び被害の軽減を図る。 評価結果：8A/5C (農林水産部関係5件) 農業農村整備事業 ①大佐布瀬 新見市大佐布瀬地内 工 種：経営体育成基盤整備事業 概 要：ほ場整備 A=6.8ha 事業費：約2.0億円 事業期間：5年間 事業目的：未整備農地の区画整備を行い、高収益作物への
-------	--

(事 務 局)	転換と意欲ある担い手への集積・集約化を進め、豊かで競争力ある農業の実現を図る。 評価結果：8A/4C ②汐入川 早島町前潟地内 工 種：防災事業（湛水防除） 概 要：排水機場整備 1箇所 事業費：約9.8億円 事業期間：5年間 事業目的：地区内の開発や降水量の増大に伴い、浸水被害が生じているため、排水機場を造成して浸水被害の発生防止を図る。 評価結果：8A/5C ③児島六区5期 岡山市南区藤田地内 工 種：防災事業（海岸保全） 概 要：堤防補強 L=1,160m 事業費：約8.4億円 事業期間：5年間 事業目的：高潮、波浪等による農地・農業用施設、人家や公共施設への被害を未然に防止する。 評価結果：8A/5C ④児島七区5期 岡山市南区北七区、玉野市東七区地内 工 種：防災事業（海岸保全） 概 要：堤防補強 L=3,040m 事業費：約8.4億円 事業期間：5年間 事業目的：高潮、波浪等による農地・農業用施設、人家や公共施設への被害を未然に防止する。 評価結果：8A/5C ⑤児島湾七区7期 岡山市南区北七区、玉野市東七区地内 工 種：防災事業（湖岸堤防） 概 要：堤防補強 L=2,200m 事業費：約5.3億円
-----------	--

(事 務 局)	事業期間：5 年間 事業目的：堤防決壊による背後地の農地・農業用施設や人家等への浸水被害を未然に防止する。 評価結果：7A/5C
(委 員)	地権者同意率が 100%では無い箇所について、強い反対があるのかどうか伺いたい。
(事 務 局)	強い反対というのはありません。
(委 員)	農林水産部の海岸保全事業と湖岸堤防事業について、老朽化対策を進めているが、南海トラフが心配される中、今回の対策はどれくらいの想定なのか。
(耕 地 課)	現在、国が児島湾締切堤防の耐震工事をレベル 2 の地震に耐え得る想定で行っており、背後にある海岸堤防及び湖岸堤防においては、レベル 1 の想定で整備を進めている。
(委 員)	締切堤防が完成すると想定して、耐え得るレベルを想定しているということか。
(耕 地 課)	レベル 2 の地震が発生しても、締切堤防が津波を防護すると考えている。
(委 員)	締切堤防の工事は、いつの完成を目指して工事を進めているのか。
(耕 地 課)	令和 12 年度に完成予定である。
(委 員)	大佐布瀬地区について、担い手として企業の参入を予定しているが、どのような企業なのか。
(耕 地 課)	同じ新見市内で、キャベツ栽培の実績がある企業。市と地元農家が、今後の担い手を模索する中、地元には若い人がいないため、実績のある企業とマッチングを図った。

(委 員)	土地は企業に売却しないということか。
(耕 地 課)	そのとおり。農地中間管理機構を介して企業に賃貸借する。
(委 員)	児島六区 5 期地区と児島七区 5 期地区の海岸保全について、概算事業費が同じなのに堤防補強工の延長が異なるのはなぜか。また、農林水産部の事業ではどのような場合に地権者の同意が必要か。
(耕 地 課)	児島六区 5 期地区は根固工、児島七区 5 期地区は護岸工を中心に整備する計画で、対象とする整備内容、施工単価が異なるため、整備延長も異なる。 地権者の同意については、基盤整備事業と湛水防除事業は土地改良法に基づくため必要となるが、海岸堤防は官地であり、地権者の同意は必要なく事業を進めている。
(委 員)	海岸堤防の全体の完成予定はいつになるのか。
(耕 地 課)	今後の予算の状況が不透明な中であるが、児島六区海岸は、令和 36 年度、児島七区海岸は令和 42 年度の完成予定である。
(委 員)	耐用年数は何年を想定しているのか。
(耕 地 課)	50 年である。
(委 員)	農林水産部の事業は B/C に随分と差がある。B/C が高いものはもっと早くやってもよいと思うのだが。
(耕 地 課)	B/C の差については、ほ場整備では作物の生産にかかる便益を国の定めた算定方法で計算して 2.7 となっているが、防災事業は便益の考え方が被害を受けるエリアの宅地や農地等の数となり、非常に多くなるため便益が大きく出る傾向にある。そのため B/C は高くなるということである。

(委 員)	同意率について、土木部事業では 100%が多いが、農林水産部事業では 95%が多数ある。この 5%が同意されていないために、事業が立ち行かなくなる、着工出来ないという事はないのか。5%の内容を詳しく説明頂きたい。
(耕 地 課)	事業に対する同意について、農林水産部では受益者の同意と捉えている。ほ場整備の場合は、受益者である地権者の土地そのものを工事するため、現時点で 100%の同意を得ている。 一方、防災事業の場合、防災受益の範囲の地権者全員が対象であり、現時点の同意率を 95%としているが、事業開始後、5%の反対者により工事を止められる心配はないかという観点では、工事に必要な用地の取得や借地の対象者からは同意を得ているため、工事を止められる心配はない。
(委 員)	一律 95%にしているのはなぜか。
(耕 地 課)	代表者や市町村に受益者の同意状況を確認し、事業推進に問題ないと判断し、かつ、工事に必要な同意はきちんと得ている状況を 95%としている。
(河 川 課)	令和 6 年度審議対象事業の説明 (土木部関係 1 件) 河川事業 ③一級河川 旭川 岡山市北区中牧～建部町福渡地内 旭川は、岡山県の中央部に位置し、新庄川、備中川等の支川を合わせて南流し、岡山市の中心部を貫流して児島湾に注ぐ、幹川流路延長 142km、流域面積 1,810km² の一級河川である。 平成 30 年 7 月豪雨災害で、堤防の決壊や越水等により、旭川中流ブロック内で、浸水面積約 260ha、浸水家屋 493 戸の甚大な被害が発生したことから、河川改修を進めるため、令和 5 年 5 月に旭川の河川整備計画を変更し、事業化に向けこのたび事前評価に諮ることとした。

(河 川 課)	本事業は、岡山市北区中牧地内から岡山市北区建部町福渡地内までの4工区において、河川改修を計画しており、整備延長 23.4km、事業費約 44 億円、事業期間 30 年間を見込んでいる。 主な事業内容は、河川堤防の整備である築堤と、河川の断面積を広げるための河道掘削を実施する予定であり、平成 30 年 7 月洪水と同等の出水に対し、人家等浸水被害の軽減を図る。 整備効果である便益と費用から、事業化判断の目安である費用対効果 (B/C) は 1.58 であり、岡山市や地元の協力体制も整っていることから、本計画を実施したいと考えている。
(委 員)	パラペットとはどのようなものか。
(河 川 課)	パラペットは、胸壁工とも言う。通常は土砂で築堤を行うが、隣接する国道 53 号への影響が大きいため、コンクリートによる遮水壁を計画している。この遮水壁がパラペットである。
(委 員)	H30.7 豪雨の浸水家屋数が 493 戸とあるが、被災を受けてどのくらいの方が戻って来られたのか。また、本事業は令和 36 年までの計画だが、それまで住み続ける世帯なのかといった調査は行っているか。
(河 川 課)	被害を受けて、今後も住み続けるかの調査は行っていないが、空き家が増えたという報告は聞いていないため、今回の B/C 算定は現況で行っている。将来人口の増減は加味していない。
(委 員)	H30.7 豪雨の被害はどれくらいだったのか (床上浸水数、浸水深など)。
(河 川 課)	各地区によって異なるが、例えば最下流の中牧地区では、浸水深は 1.7m、床上浸水 21 戸、床下浸水 7 戸となっている。また、堤防が決壊した御津国ヶ原地区では、浸水深は 1.0m、床上浸水 65 戸、床下浸水 4 戸の被害が確認されている。

(河 川 課)	今回、事業を行う区間では、床上浸水 218 戸、床下浸水 79 戸、合計約 300 戸ほど確認されている。
(委 員)	今回の台風で岡山県の傾向や課題が出たと思う。資料に H30.7 豪雨の雨量情報があるが、ここに今回の台風の雨量をいれて、本事業の良さ、やらないといけないということを県民に明示しないといけない。H30.7 豪雨に比べて雨量が少なかったのか、嵩上げすることで防げたのかなど傾向を整理しておく必要がある。
(河 川 課)	H30.7 豪雨と先日の台風 10 号の雨量を簡単に説明すると、H30.7 豪雨の各観測所の累計雨量は、久世観測所は約 410mm、福渡観測所は約 310mm、岡山観測所は約 310mm となっている。今回の台風の累計雨量は、久世観測所は約 120mm、福渡観測所は約 60mm、岡山観測所は約 30mm である。H30.7 豪雨と比べて少ない雨量であり、現時点、旭川での被害はないと聞いている。 もう一点のご質問の件については、整備効果を地元などに向けて発信できるよう、今後検討していきたい。
(委 員)	委員になってから何度か話させてもらっていることであるが、B/C を算定する際に、人口減少が予想できる箇所については、どのように整理するのか。今回の事業では、30 年かけて整備して、50 年間効果を出すようにしているが、はたして 80 年先に人がいるのだろうかと考えてしまう。今後検討・分析してもらいたい。ぜひ最大限効果が発揮できる方法を考えてほしい。
(委 員)	堤防整備だけではなく、遊水地を整備する考えもあると思うが、本事業では検討しないのか。
(河 川 課)	今回の旭川では計画していないが、小田川沿川で遊水地の計画がある。
(委 員)	堤防整備と遊水地整備を比較すると、どちらがコストパフォーマンスが良いというのはあるか。

(河 川 課)	旭川とは状況が異なるが、遊水地を計画している箇所は、小田川の支川となるため、洪水時にはゲートを閉めて、ポンプ排水を実施する。ポンプ整備にも多額の費用がかかるため、遊水地整備との経済比較により計画している。
(委 員)	県の評価は妥当であるとしてよろしいか。 (異議なし)
(委 員)	県の評価は妥当であるとする。

4 再評価

(事務局)	令和6年度の再評価対象事業の概要説明 (土木部関係12件、農林水産部関係1件) (1) 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業 交通安全事業 ①県道 寄島笠岡線 笠岡市西大島地内 ②県道 津山柵原線 津山市横山地内 地すべり対策事業 ③地すべり防止区域 園尾地区 高梁市巨瀬町園尾地内 ④地すべり防止区域 山本地区 高梁市成羽町成羽地内 (2) 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業 道路改良事業 ⑤県道 倉敷笠岡線 倉敷市船穂町船穂～玉島長尾地内 河川改修事業 ⑥一級河川 吉井川 (佐伯) 和気郡和気町岩戸～赤磐市稲蒔地内 ⑦二級河川 砂川 (一宮) 岡山市北区一宮～福谷地内 ⑧二級河川 前川 総社市赤浜～三須地内 海岸保全施設整備(高潮対策)事業 ⑨岡山港海岸 北浦幸島地区・小串地区・立川地区 岡山市東区正儀～南区築港元町地内 ⑩東備港海岸 日生地区 備前市日生町日生地内 広域営農団地農道整備事業 ⑪備前東部地区 赤磐市惣分～備前市吉永町南方地内 和気郡和気町保曾～南山方地内
-------	---

(事 務 局)	(3) 知事が特に再評価の必要があると認める事業 道路改良事業 ⑫地域高規格道路 美作岡山道路 岡山市東区瀬戸町塩納～勝田郡勝央町黒土地内 港湾整備事業 ⑬地方港湾 笠岡港 笠岡市鋼管町地先
(委 員)	東備港海岸日生地区の海岸保全施設整備について、事業期間の延期理由として海運会社やフェリー会社等の調整に不測の日数を要したとなっているが、調整の目途は立っているのか。
(港 湾 課)	調整は既に完了している。
(委 員)	令和 11 年には事業完了となるのか。
(港 湾 課)	令和 11 年の事業完了となる予定である。
(委 員)	地方港湾笠岡港の進捗率だが、前回評価の 99%から今回は 66%に下がっている理由は何か。
(港 湾 課)	護岸整備はほぼ終わっているが、この度、減量化工事を追加することによって、全体事業費が増額となり、進捗率で言うと 66%となった。
(委 員)	今後、追加工事が増えていき、ますます全体事業費が増額していくのではないか。
(港 湾 課)	今回、浚渫土を処分する容量を増加させるために減量化工事を追加するが、これ以上の工事を追加する予定は無い。
(委 員)	二級河川前川の進捗率について、前回評価が 93%で今回評価も 93%である。進捗率に変化がないのはなぜか。

(河 川 課)	前回の再評価時点から事業費を増額しており、その事業費で進捗率を算出しているため、今回の再評価時点でも進捗率が93%となっている。 再評価審議案件の抽出結果 (令和6年度再評価対象事業13件から) ②交通安全事業 県道 津山柵原線 ③地すべり対策事業 地すべり防止区域 園尾地区 ⑫道路改良事業 地域高規格道路 美作岡山道路 ⑬港湾整備事業 地方港湾 笠岡港
------------------	---

5 進捗状況報告

(事務局)	再評価後2年を経過した事業の進捗状況報告(13件) ①道路改良事業 県道 穴栗真備線 位置：総社市下原～倉敷市真備町辻田地内 事業期間：平成24年度～令和9年度 進捗率：50% ②道路改良事業 県道 東水砂矢掛線 位置：小田郡矢掛町西川面～東川面地内 事業期間：平成24年度～令和7年度 進捗率：83% ③海岸保全施設整備事業 牛窓港海岸 牛窓地区 位置：瀬戸内市牛窓町牛窓地内 事業期間：平成24年度～令和8年度 進捗率：32% ④海岸保全施設整備事業 東備港海岸 片上地区 位置：備前市西片上地内 事業期間：平成24年度～令和6年度 進捗率：66% ⑤岡山県南広域都市計画事業 都市計画道路 早島大砂線 位置：都窪郡早島町早島～倉敷市鳥羽地内 事業期間：平成24年度～令和7年度 進捗率：89% ⑥海岸保全施設整備事業 朝日漁港海岸 位置：岡山市東区宝伝地内 事業期間：平成24年度～令和8年度 進捗率：74% ⑦道路改良事業 県道 矢掛寄島線 位置：浅口市寄島町地内 事業期間：平成19年度～令和8年度 進捗率：71%
-------	---

(道路整備課)	⑧交通安全事業 県道 笠岡美星線
(委 員)	④海岸保全施設整備事業 東備港海岸 片上地区についてだが、今年度完了予定であるが進捗率 66%となっている。問題なく完了出来るのか。
(港 湾 課)	問題なく完了できる予定である。
(委 員)	過去2年間で3%の進捗であったため、今年度で34%進捗するのかといった観点での質問。過去2年間は調整に時間を費やしたということか。
(港 湾 課)	過去2年間は、設計や工事の施工に必要な施工ヤードの借地等について、関係者との調整に時間を費やした。

6 閉会